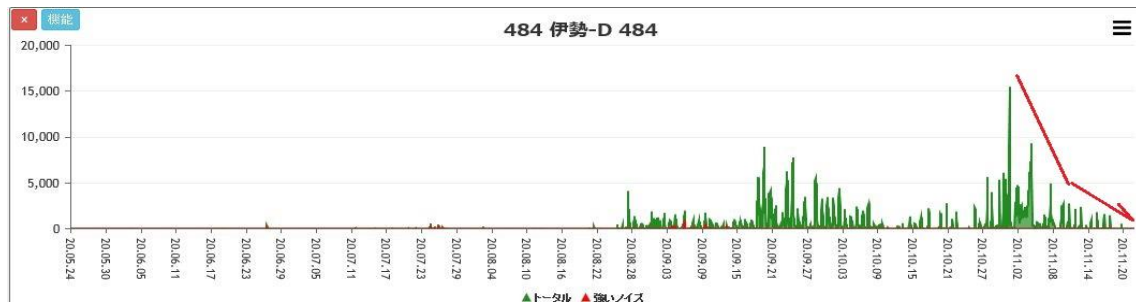


201120 伊勢のデータの収束について

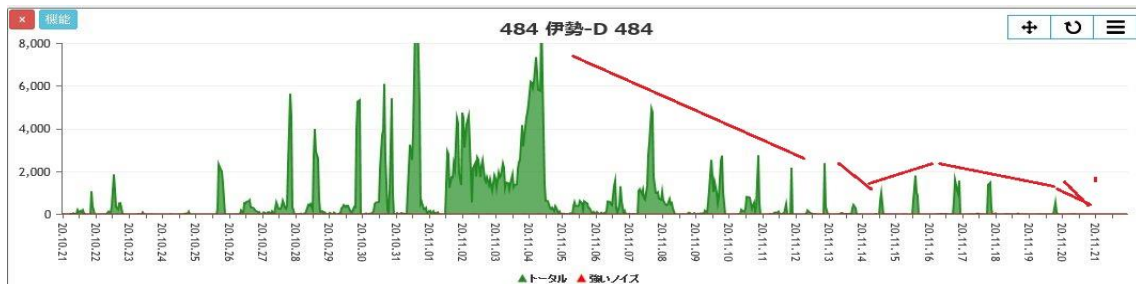
長く懸案だった伊勢 E481 と伊勢 D484 のデータが収束してきています。

このままのデータからはこの週末に三重県沖で M4~M5 の中規模地震の可能性があります。しかし伊勢 E481 については次のようにさらに規模の大きな地震の可能性が残っているので以下に記します。

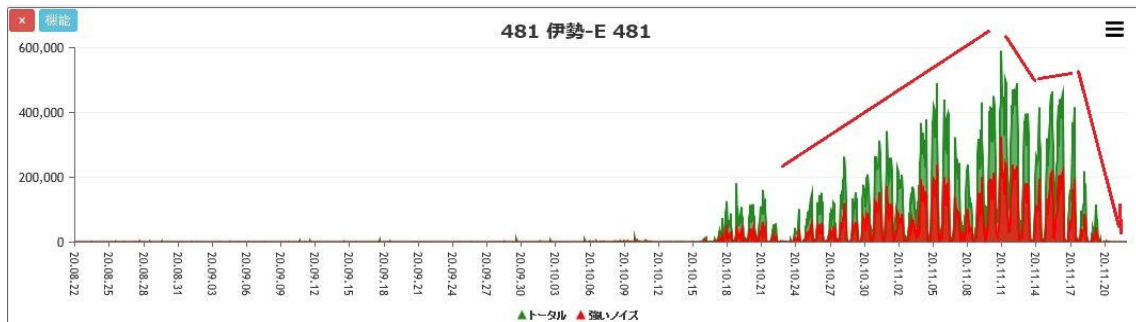
伊勢 D484 180 日データ



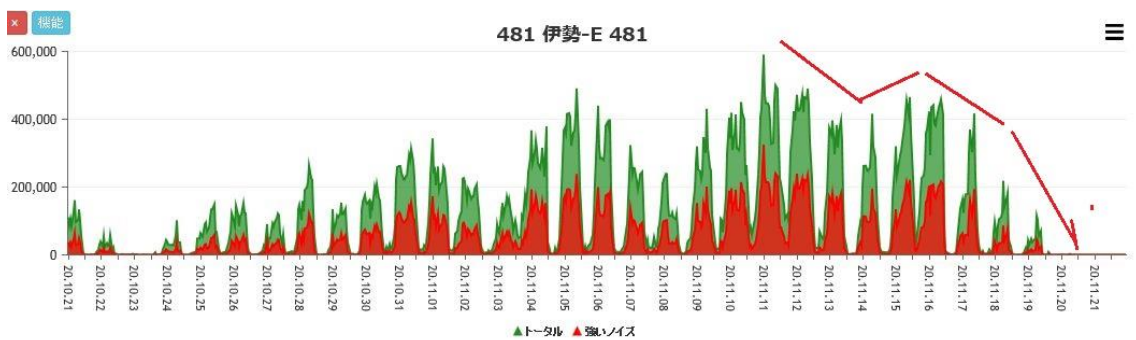
伊勢 D484 30 日データ



伊勢 E481 180 日データ



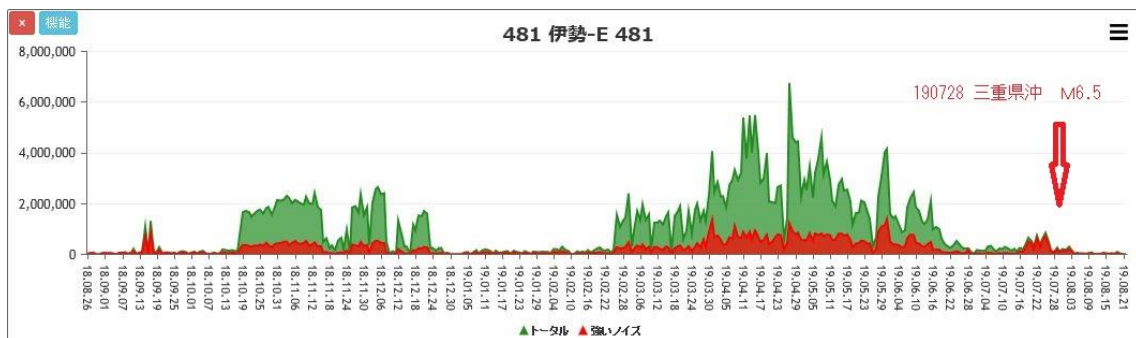
伊勢 E481 30 日データ



＜伊勢 E481 の長期データの問題について＞

この伊勢の2つの観測点のデータに関しては 次の通り昨年の2019年の7月26日の三重県沖 M6.5 (D420 km) の地震を捉えています。つまり昨年の2019年の7月に 約1年間続いた伊勢 D484 と伊勢 E481 が長期につづく大きな山を作って収束してから2019年7月28日の三重県沖 M6.5 (D420 km) の地震が起き、その2日後の6月30日には八丈島東方沖 M6.0 が発震しています。

伊勢 D484 と伊勢 E481 360 日日毎データ



2019年7月28日三重県沖 M6.5 (D420 km) と 6月30日八丈島東方沖 M6.0

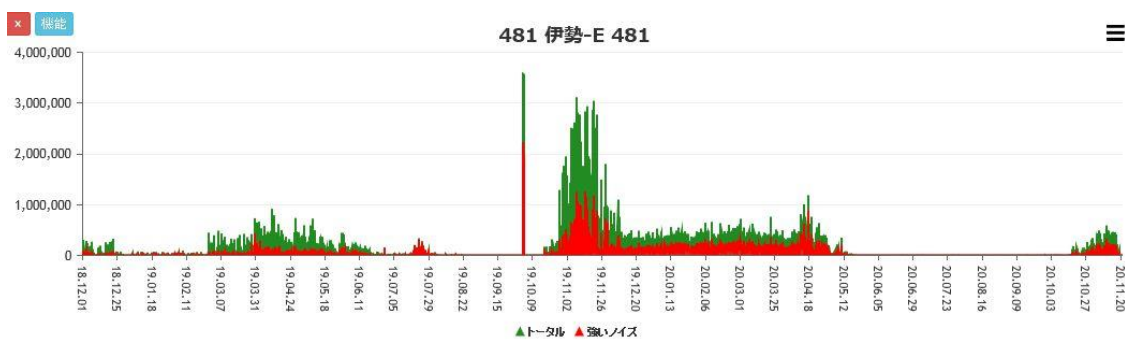


その後の経過について まず伊勢 D484 には大きなデータが出ておらず、今回の小さい山の収束になっており このデータからは M4~M5 程度の中規模地震が考えられます。

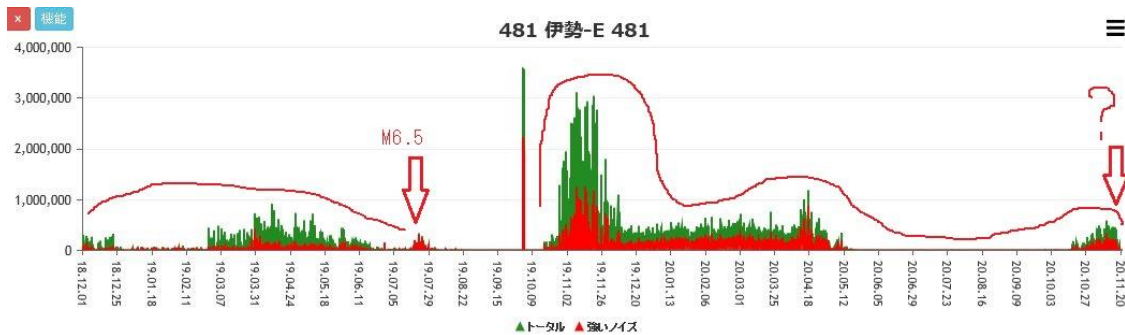


しかし、伊勢 E481 については状況が異なり、昨年 2019 年 7 月 26 日の M6.5 のあと、さらに大きなデータが出現していながら 未だ対応地震はありません。

伊勢 E481 720 日データ



つまり昨年 2019 年 10 月から出ている大きなデータが いまのデータまでつながっているか？継続しているか？が重要になると思われます。

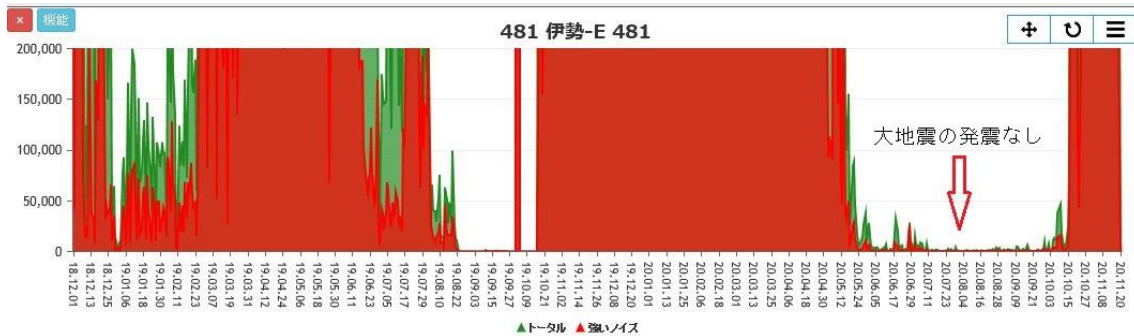


はたして 2019 年 10 月からのデータといまの山に継続性があるか？検討が必要です。

伊勢 E481 720 日データ 01



伊勢 E481 720 日データ 02



<三重県沖 M6.5 を超える大地震の可能性が残ります>

仮に、伊勢 E481 の昨年 10 月以降の大きなデータが連続していると仮定すると、

この週末の予想は三重県沖 M6.5 を超える大地震の可能性がります。

ではなぜ伊勢 D484 ではデータが同期して出ないのか？については はっきりとはわかりませんが 同様の事例は熊本地震の前兆にありました。

2016 年 4 月 16 日の熊本地震 M7 の前兆データは 当初、1 年以上前に 広島と高知 B449 が同期して大きな山を作っていました。しかし広島は途中でデータが減衰してしまい、その後は高知 B449 だけがデータを出し続けて減衰一収束して熊本地震が発生しました。

もし伊勢 D484 が広島のように途中で減衰してしまったとしても 伊勢 E481 が残って異常データを続けていたとしたら 大地震の可能性は残ります。

いずれにせよ伊勢、三重県近辺の方はこの週末、念のためご注意ください。